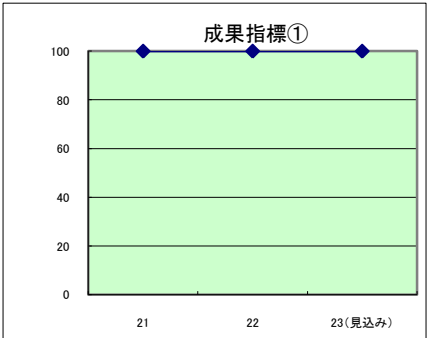
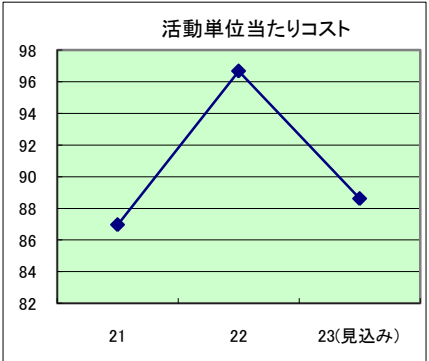


事務事業名		医療費のお知らせ事業		予算科目	会計	2	国民健康保険特別会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	8	保健事業費	
	施策(節)	1	保健・医療		項	2	保健事業費	
	施策の方向	(5)	医療保険制度の充実		目	1	保健衛生普及費	
					事業	3	医療費通知	
関連する計画等				作成部署	保健福祉部保険健康室保険年金課			
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 1340			
	被保険者							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
	受診した総額医療費等をお知らせすることにより、医療費の適正化を図る。							
事業の内容	被保険者に医療費、診療日数及び受診医療機関の名称を年6回お知らせし、自己の保険給付の再確認を喚起する。							
根拠法令等		厚生労働省通知等						
事業開始時期		☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度			平成 年度	
事業開始時からの状況変化		お知らせする内容・事項の充実を進めてきた。						
市民や議会の要望								
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称()			委託内容			
		☐ 民間委託 ☒ その他						

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】		(千円)	7,100	6,882	6,613
人件費【2】		(千円)	2,250	2,160	2,160
職員数	正規職員		0.30 人	0.30 人	0.30 人
	再任用職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員		0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】		(千円)	9,350	9,042	8,773
財源内訳	国費	(千円)			
	府費	(千円)	9,350	9,042	8,773
	市債	(千円)			
	その他 (手数料・使用料等)	(千円)			
	一般財源	(千円)	0	0	0
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
①	医療費通知送付件数	通	107,511	93,531	99,000
②					
③					
活動単位当たりコスト (【A】 ÷ 【B】 ①)			87 円	97 円	89 円
市民1人当たりコスト (【A】 ÷ 人口)			79 円	77 円	74 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	①	送付すべきお知らせ件数の割合 (式)	%	医療費の支払いがある対象を全てお知らせしているか	目標	100	100	達成率(%)	100	
					実績	100	100	100.0%		
	②	(式)			目標			達成率(%)		
					実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	原則、自己負担3割・保険負担7割の周知・理解が必要である。
								○			

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	厚生労働省の通知により実施。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	システム化、国保連合会への委託などによる効率化
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
人員を削減する余地がない		☒	☐	☐		
事業費を削減する余地がない		☒	☐	☐		
簡略化できる方法や手段がない		☒	☐	☐		
市の他事業と重複していない		☒	☐	☐		
民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない		☒	☐	☐		
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	医療費の適正化に有効とされている。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐		
	市民の視点にたつてサービスが提供されている	☐	☒	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒		
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	目標値は達成している。	
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐		
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐		

担当部局評価	総合評価											
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了											
	評価の理由											
	被保険者自身が保健医療について把握することは、保険医療制度への目的の一つである。											
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)											
行革本部評価	継続実施することが、制度理解、健康意識の向上、財政効果等に非常に有効である。											
	総合評価						評価理由・意見					
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善											
	☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了											